

1 公共施設太陽光発電システム等の導入事業

【目的】

公共施設で設置可能な施設に、太陽光発電システム、ソーラーカーポート、ソーラー街路灯を設置し、レジリエンス強化、CO2削減、コスト削減を図る。

【対象施設の選定】

- ・環境省が作成した簡易判定ツールを参照し、築年数、規模、構造、設置場所から勘案し、設置可能性のある施設を選定する。構造計算が必要な場合は、予算措置の上、必要な資料を用意し、構造計算を行う。

【実施方法】 予算要求 ※重点対策加速化事業

PPA 方式

- ① PPA 事業者の公募
- ② プロポーザル、事業者の決定
- ③ 事業者との契約締結、着工、工事

【レジリエンスの強化】

- ・対象施設が避難所である場合は、蓄電池の導入を検討する。
- ・蓄電池は、災害時の非常用電源として機能し、また、電力の自家消費率を高め、電力需要を平準化することができ、電気料金の削減に繋がる。

2 高効率空調設備更新事業

【目的】

公共施設の空調設備について高効率化な可能なものについては、高効率空調設備に更新し、CO2 排出の削減、電気料金のコスト削減を図る。

【実施方法】 予算要求 ※重点対策加速化事業

公共施設の空調設備について、耐用年数、更新時期等を調査し、高効率空調設備への更新が可能なものについては、高効率空調設備への更新を検討する。

3 公共施設照明 LED 化事業

【目的】

公共施設の照明の LED 化を順次行い、CO₂ 排出の削減、電気料金のコスト削減を図る。

【実施方法】 予算要求 ※重点対策加速化事業

地球温暖化対策基金を活用し、公共施設の照明の LED 化を行う。公共施設の照明の LED 化率、電気料金、CO₂ 排出量を算定し、費用対効果の高い施設の照明の計画的な LED 化を検討する。また、リース方式の費用対効果、実現可能性も併せて検討する。

4 公用車 EV 化及びカーシェアリング導入事業

【目的】

公用車 EV 化及びカーシェアリングの導入を通じて、新たな移動手段を提供し、CO₂ の排出削減を図る。

【実施場所の選定】

カーシェアリングの需要を勘案し、公共施設の駐車場のうち、効果的な場所を選定する。

【実施方法】 予算要求 ※重点対策加速化事業

支所、出張所、公民館などの公共施設の適切な場所を選定し、公用車 EV 化及びカーシェアリングを実施する。平日の日中は公用車として利用し、平日夜間・休日は、カーシェアリングとして市民・事業者にも利用してもらう。併せて、充電設備の設置も検討する。（重点対策加速化事業を利用する場合は、再エネ発電設備等から電力供給可能となる場合に限る。）

5 電力の自己託送事業

【目的】

西貝塚環境センター（ごみ処理施設）で発電している電力について、売電から自家消費に切り替え、電力の地産地消を図り、CO₂ 排出量を削減する。

【自己託送する公共施設の選定】

電気代の単価、託送料金、賦課金その他費用対効果を比較の上、自己託送をする公共施設を選定する。

【実施方法】 予算要求

西貝塚環境センターで契約しているプラントメーカーと協議し、東京電力パワーグリッド株式会社に自己託送の手続きを行い、実施する。

6 再生可能エネルギーの電力調達事業

【目的】

C02 削減の目標値（5 1 %）を達成する手段の一つとして、再生可能エネルギーの電力を調達する。

【契約の切替について】

- ・「上尾市電力の調達に係る環境配慮方針」に基づき、各部（グループ）単位で入札を行う。
- ・再生可能エネルギーに切り替える際のコスト増を試算し、費用対効果を検証する。
- ・電力の安定供給を実施するため、事前に懸念点を調べ、問題点を解消する。

【実施方法】 予算要求

各公共施設における電力調達契約を再生可能エネルギーに切り替える。